

グローバル・エマージング・ボンド・オープン

愛称：受取物語

追加型投信／海外／債券 特化型

作成対象期間：2024年5月11日～2024年11月11日

第310期決算日：2024年6月10日 第313期決算日：2024年9月10日

第311期決算日：2024年7月10日 第314期決算日：2024年10月10日

第312期決算日：2024年8月13日 第315期決算日：2024年11月11日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、新興経済国等が発行する相対的に高利回りの米ドル建公社債（エマージング・カントリー公社債）を主要投資対象とし、長期的な高水準の利子等収益の確保と売買益の獲得をめざして運用することを目的としております。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第315期末（2024年11月11日）

基準価額 7,596円

純資産総額 14,097百万円

第310期～第315期

騰落率 + 3.5%

分配金合計^(*) 60円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

 **MUFG** 三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

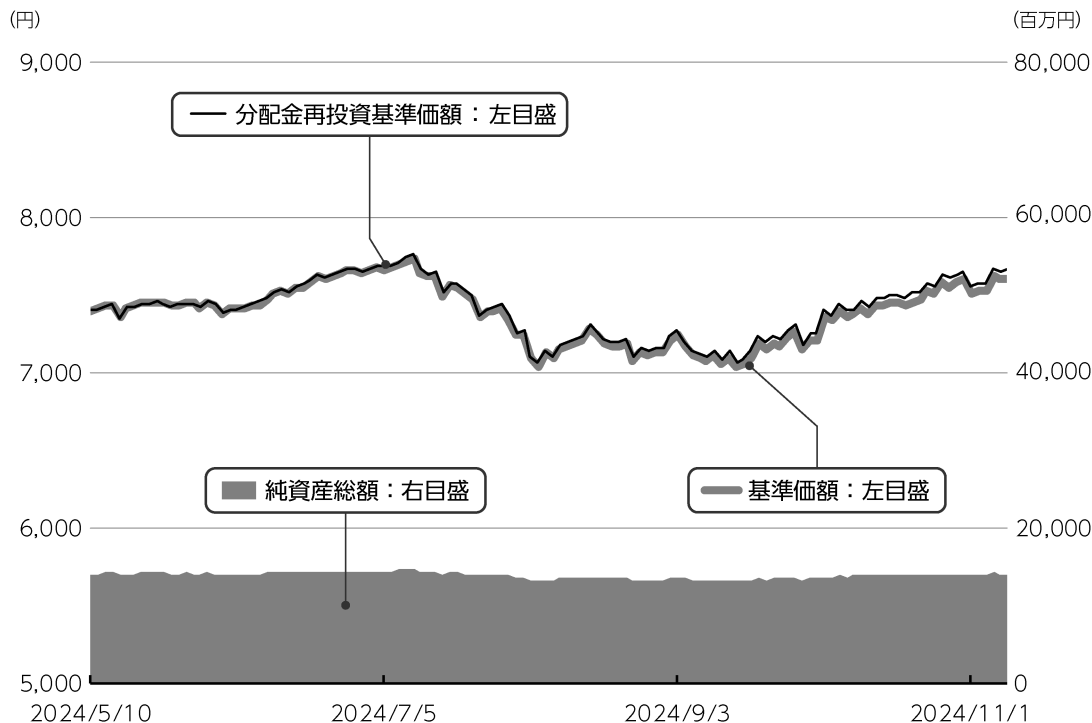
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第310期～第315期：2024年5月11日～2024年11月11日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第310期首	7,398円
第315期末	7,596円
既払分配金	60円
騰落率	3.5%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 ※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ3.5%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の変動要因

上昇要因

エマージング債券市況が上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

米ドルが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

2024年5月11日～2024年11月11日

1万口当たりの費用明細

項目	第310期～第315期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	63	0.847	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(37)	(0.505)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(21)	(0.286)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.056)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.013	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.011)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	64	0.860	

作成期中の平均基準価額は、7,382円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

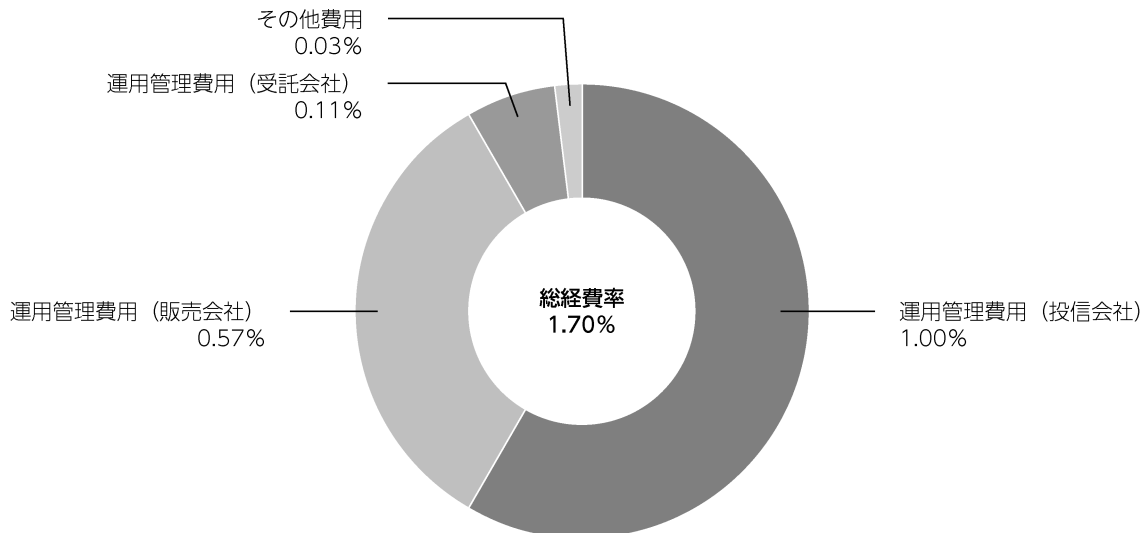
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.70%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

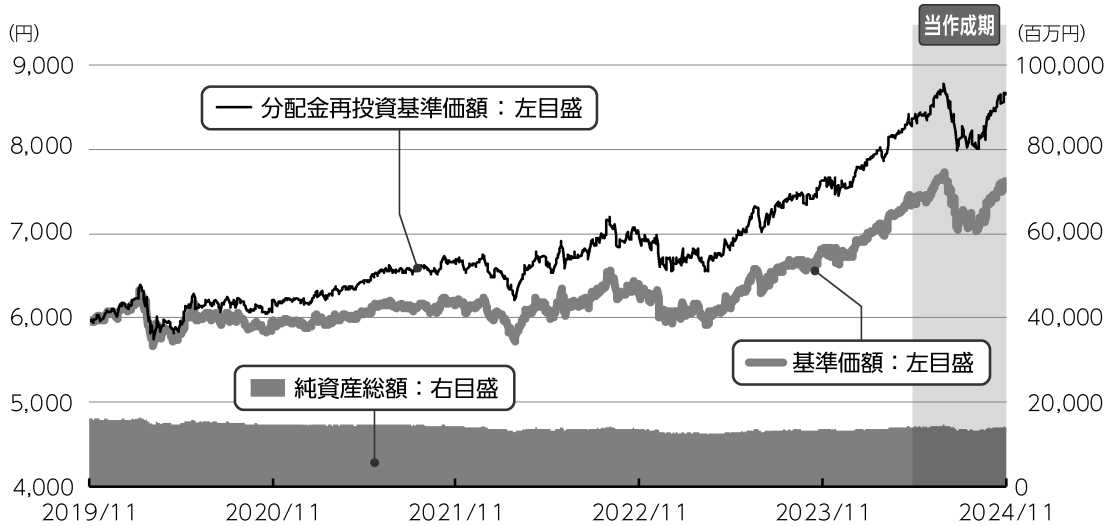
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2019年11月11日～2024年11月11日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額は、2019年11月11日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2019/11/11 期初	2020/11/10 決算日	2021/11/10 決算日	2022/11/10 決算日	2023/11/10 決算日	2024/11/11 決算日
基準価額 (円)	5,975	5,958	6,158	6,395	6,799	7,596
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	240	220	120	120	120
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	3.8	7.2	5.9	8.4	13.6
純資産総額 (百万円)	15,975	14,797	14,202	13,684	13,501	14,097

※ファンド年間騰落率は、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

第310期～第315期：2024年5月11日～2024年11月11日

投資環境について

▶ 債券市況

エマージング債券市況は上昇しました。
エマージング債券市場は、インフレ鈍化を示唆する一部の米経済指標を受けて主要中銀による利下げ観測が高まったことなどがプラス要因となり、期間を通じてみると上昇しました。

▶ 為替市況

米ドルは対円で下落しました。
インフレ鈍化を示唆する経済指標の発表を受けた米国の利下げ観測の高まりや日銀の利上げなどを背景に、米ドルは対円で大きく下落しました。その後、日銀の利上げ観測の後退や米国大統領選挙でトランプ氏が勝利したことなどをを受けて米ドルは対円で上昇したものの、期間を通じてみると対円で下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

組入比率

現物債券の組入比率を高位に維持して運用を行いました。

資産配分

米国国債のほか、エマージング債券市場において比較的信用力が高いと考える国の国債を中心に運用しました。

国別配分等

当期間では、米国国債の組入比率を引き下げた一方、アルゼンチン国債の組入比率を引き上げました。

金利戦略

デュレーションについては、当期間を通じて、機動的に水準を調整しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第310期 2024年5月11日~ 2024年6月10日	第311期 2024年6月11日~ 2024年7月10日	第312期 2024年7月11日~ 2024年8月13日	第313期 2024年8月14日~ 2024年9月10日	第314期 2024年9月11日~ 2024年10月10日	第315期 2024年10月11日~ 2024年11月11日
当期分配金 (対基準価額比率)	10 (0.135%)	10 (0.129%)	10 (0.139%)	10 (0.141%)	10 (0.135%)	10 (0.131%)
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	-	-	-	-	-	-
翌期繰越分配対象額	1,571	1,867	1,879	1,888	1,908	1,929

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

世界の経済成長サイクルは依然として回復段階にあるとみています。最近の米国景気減速は典型的なサイクル中盤での休止を表していると考えられ、金融環境および信用条件の緩和や、健全な家計および企業バランスシートが2025年のグローバル需要を押し上げると予想されます。インフレについては、中国のデフレ継続、世界のエネルギーおよび農産物市場での十分な供給等を背景に、世界的にデイスインフレの流れが継続しています。このようなマクロ経済環境はエマージング市場にとって好材料であり、経済成長見通しはエマージング国が対先進国で優位な方向に傾きつつあるとみています。ただし、中東情勢の緊張が高まっているものの、現時点で大きな供

給問題にはつながっていないことから、地政学リスクに対する市場の警戒は高まっておらず、この点については注意が必要だと考えます。また、米大統領選挙においてトランプ氏が勝利し、上下院共に共和党が過半数を獲得する可能性が高まったことを受けて、減税、規制緩和、関税引き上げ、不法移民規制強化等の実施により、インフレ圧力が強まる可能性があるため、エマージング債券市場に対する影響を注視いたします。

このような環境下、当ファンドにおいては、ファンダメンタルズが良好で投資妙味のある国の債券を中心に、リスク考慮後リターンを重視しながら選別的に投資し、米国国債も一部組み入れて運用する方針です。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

- ・東京証券取引所の取引時間の延伸に伴い、申込締切時間の変更を行いました。詳細は、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) から当該ファンドページの目論見書をご覧ください。(2024年11月5日)

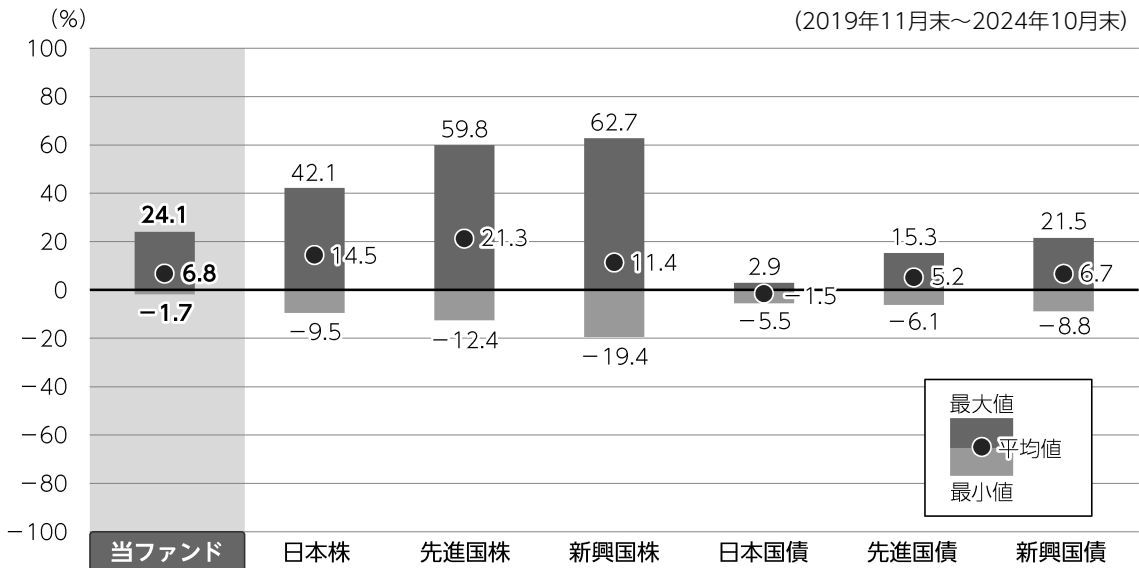
*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券 特化型
信託期間	2028年7月10日まで（1998年7月31日設定）
運用方針	新興経済国等が発行する相対的に高利回りの米ドル建公社債（エマージング・カントリー公社債）を主要投資対象とし、分散投資を行います。各国のファンダメンタルズ分析とクレジット・リスク分析に基づく銘柄選定を基本とします。機動的に米国公債にシフトすることによって、パフォーマンスの安定性を高めます。原則として外貨建資産については為替ヘッジを行いません。運用の指図に関する権限は、シュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッドに委託します。
主要投資対象	米ドル建てエマージング・カントリー公社債を主要投資対象とします。
運用方法	新興経済国等が発行する相対的に高利回りの米ドル建公社債を主要投資対象とし、長期的な高水準の利子等収益の確保と売買益の獲得をめざします。
分配方針	経費等控除後の利子等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、経費等を控除後の利子等収益等を中心に、基準価額水準、市況動向等を勘案したうえで安定した分配を継続することをめざします。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、基準価額水準、運用状況等によっては安定した分配とならないことがあります。

- ◆ファンドは特化型運用を行います。一般社団法人投資信託協会は信用リスク集中回避を目的とした投資制限（分散投資規制）を設けており、投資対象に支配的な銘柄（寄与度*が10%を超える又は超える可能性の高い銘柄）が存在し、又は存在することとなる可能性が高いものを、特化型としています。
 - ◆ファンドは、新興経済国等が発行する相対的に高利回りの米ドル建公社債（エマージング・カントリー公社債）を主要投資対象としております。エマージング・カントリー公社債には、寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するため、投資先について特定の銘柄への投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄にデフォルト等の発生があった場合には、大きな損失が発生することがあります。
- * 寄与度とは、投資対象候補銘柄の時価総額の合計額における一発行体あたりの時価総額が占める比率または運用管理等に用いる指数における一発行体あたりの構成比率を指します。

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2019年11月から2024年10月の5年間ににおける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2024年11月11日現在

当該投資信託の組入資産の内容

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：39銘柄)

	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	3.5 T-NOTE 260930	債券	アメリカ	国債	9.9
2	3.75 T-NOTE 260831	債券	アメリカ	国債	9.7
3	4.125 T-NOTE 290331	債券	アメリカ	国債	8.4
4	4.5 MEXICO 290422	債券	メキシコ	国債	5.7
5	4.375 T-NOTE 260815	債券	アメリカ	国債	4.4
6	4.5 BRAZIL 290530	債券	ブラジル	国債	4.2
7	3.875 COLOMBIA 270425	債券	コロンビア	国債	3.8
8	3.75 MEXICO 280111	債券	メキシコ	国債	3.4
9	FRN ECUADOR 350731	債券	エクアドル	国債	3.0
10	2.783 PERU 310123	債券	ペルー	国債	2.9

※比率は純資産総額に対する割合です。

※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

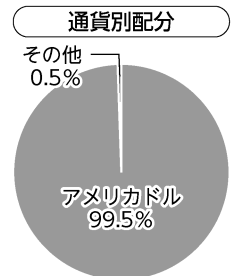
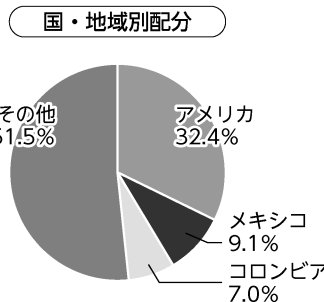
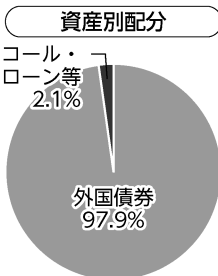
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

純資産等

項目	第310期末 2024年6月10日	第311期末 2024年7月10日	第312期末 2024年8月13日	第313期末 2024年9月10日	第314期末 2024年10月10日	第315期末 2024年11月11日
純資産総額 (円)	14,039,412,759	14,526,598,676	13,414,202,940	13,287,138,232	13,828,154,787	14,097,820,579
受益権口数 (口)	18,926,638,633	18,831,400,275	18,731,582,615	18,696,212,114	18,645,280,477	18,558,374,755
1万口当たり基準価額 (円)	7,418	7,714	7,161	7,107	7,416	7,596

※当作成期間中（第310期～第315期）において追加設定元本は15,887,896円
同解約元本は 471,809,423円です。

種別構成等



※比率は純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。





三菱UFJアセットマネジメント